

## 令和2年度 座間総合高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教育公務員として県民の信頼を損なわぬよう、モラル・マナー意識の向上を図る。	延べ17回の研修を実施できた。不要不急の外出自粛など自らを律する行動も含め、モラル・マナーの遵守意識が高まった。
職場のハラスメントの防止 (パワハラ、セクハラ、マタハラ等)	ハラスメントの無い、職員相互で信頼し合える、明るく働きやすい職場環境作りを行う。	延べ2回の研修を行った。互いの人格を尊重した言葉遣いは、職員同士のみでなく生徒への対応でも実践している。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒の一生を守り心を傷つけぬよう、わいせつ・セクハラ行為の根絶を図る。	延べ3回の研修を実施し、うち1回は行政課職員を講師に招いた研修を行った。職員各自が襟を正し研修に参加し、自覚と意識が高まった。
体罰、不適切な指導の防止	毅然とした意識を保持しつつ、健全な教育活動の遂行を図る。	延べ2回の研修に加え、人権教育研修も実施した。毅然とした言動によって、職員が一体となって適切な指導を行った。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	生徒の将来を預かる真摯な思いと覚悟を持ち、着実な業務遂行を図る。	延べ17回の研修を行い、事故防止に努めた。点検・再確認では「ミスを発見する」目をもって行うことを徹底した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	管理ルール、セキュリティポリシーの遵守により、情報の適正管理に努め流出等を防止する。	延べ10回の研修を行った。ICT機材の充実に合わせ情報管理の徹底を図った。個人情報取得に係る手続きも遺漏なく行えた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通道德に関する意識啓発の徹底に努め、交通違反、交通事故の防止を図る。	公務外非行など法令遵守と併せ延べ9回の研修を行った。人命に関わる、あってはならない事故であることを繰り返し意識させ、事例は1件も発生しなかった。
業務執行体制の確保等	業務執行にあたる意識・体制の適正確保に努め、事務処理ミス等の未然防止を図る。	延べ19回の研修を行った。グループリーダーや年次リーダーによる業務進捗の確認も逐次行っており、各業務は遅滞なく遂行することができた。
財務事務等の適正執行	私費会計基準に則った適正な会計処理の徹底を図る。	延べ3回の研修を行った。財務事務調査指導における指摘事項も無く、適正な会計処理が行えている。

○ 令和2年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和3年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

- 今年度も、各項目を網羅的に研修することができ、職員一人ひとりの意識の高まりを感じることができた。
- 新型コロナ感染拡大防止への意識も高く保ち、学校全体の危機管理意識も高まったと判断できる。
- 無くて当たり前の事故事例や危機管理であるが、慣れや気の緩みに陥ることなく、引き続き毎年毎年の意識徹底を図る必要がある。